

インクジェットプリンター(複合機)

# ファクスガイド

## ファクスの使い方全般を説明しています。

本書では PX-M5041F のイラストや画面を使用して 説明しています。



# もくじ

マニュアルの使い方とファクス画面の見方 ........2

#### ■ファクスの準備

電話回線を接続	4
プリンターの設定	6
■ファクスを送信する	
ファクス送信の基本操作	8
いろいろな送信方法	10

#### ■ファクスを受信する

ファクス受信の方法	14
いろいろな受信方法	17
受信文書の処理方法	
印刷する	
保存する	
転送する	

#### ■その他のファクス機能

その他のファクス機能	
各種レポート、リスト印刷	
セキュリティー設定をする	
ファクスジョブを確認する	

#### ■アドレス帳

アドレス帳2	24
--------	----

#### ■困ったときは

困ったときは	26
ファクス機能診断結果一覧	
エラーコード一覧	
トラブル対処	

#### ■付録

メニュー一覧	
メールサーバーの設定	
文字の入力	

本書は製品の近くに置いてご活用ください。

# マニュアルの使い方とファクス画面の見方

本マニュアルは、プリンターのファクス機能を使うための準備と設定などを説明しております。用紙のセット方 法や操作パネルの見方、コピー、スキャンなどの操作方法はプリンターに付属の『操作ガイド』(紙マニュアル) または『ユーザーズガイド』(電子マニュアル)をご覧ください。

# 掲載画面とイラスト

• 本体イラスト

PX-M5041Fを例に説明しているため、お使いの機種によって異なる場合があります。

操作パネルイラスト

PX-M5041Fを例に説明しているため、お使いの機種によって異なる場合があります。また、設定状況によって異なる場合もあります。

本マニュアルは共通マニュアルのため、お使いの機種によって機能が異なります。各機種の詳細は『操作ガイド』(紙マニュアル) または『ユーザーズガイド』(電子マニュアル)をご覧ください。

# 記号の意味 ①重要 必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。 ② 補足情報や参考情報を記載しています。 ② 関連した内容の参照ページを示しています。 【〕 ボタン名を示します。 【〕 パネルの表示(設定値や項目)を示します。

#### ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修 理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

ファクスモード画面の見方と使い方



1	ファクスメモリーの使用量を表示します。使用率が 100%になると送受信ができません。
2	未処理(未読や印刷していない、未保存など)のファクスがあるときに点灯します。
3	タッチするとファクス番号入力画面が表示されます。
4	タッチして設定値を変更できます。[メニュー] - [送信設定] でその他の送信設定が変更できます。
5	タッチすると [送信設定] 画面が表示され、送信設定の変更ができます。
6	ファクスのアドレス帳が表示されます。
0	送受信した電話番号が表示されます。 通信結果は【ジョブ確認】ボタンで確認してください。 <i>L</i> 3F「その他のファクス機能」-「ファクスジョブを確認する」23ページ
8	オンフックで送受信できます(対応機種のみ)。
9	送信メニューとレポート印刷が表示されます。
10	送信文書を画面で確認できます。 ∠☞「いろいろな送信方法」-「送信内容を確認してから送信する」11 ページ
Û	現在の設定値をお気に入りに登録できます。また、登録した設定値を呼び出すこともできます。

# メニューなどの選択画面

i الم	
送信設定	
時刻指定送信	
ポーリング受信	
ポーリング送信	L
待機文書蓄積	V

スライドバーがあるときは画面に続きがあります。〔▲〕〔▼〕または画面を指で上下にフリックすると画面を移動できます。

# 電話回線を接続

プリンターと電話回線を接続します。プリンターの セットアップ時にファクス設定をしなかったときは、 ここから始めます。

# 使用できる電話回線

一般加入電話回線(PSTN)、構内交換機(PBX)で使用 できます。

ただし、以下のシステムや電話回線では使用できないこと があります。

- ADSL や光ファイバーなどの IP 電話回線
- デジタル回線(ISDN)
- 一部の構内交換機(PBX)
- 各種サービス(キャッチホンなど)の提供を受けている 電話回線
- 加入電話回線との間にターミナルアダプター、VoIPア ダプター、スプリッター、ADSLモデムなどの各種アダ プターと接続しているとき
- ドアホンやビジネスホンには対応していません

# 電話回線とプリンターの接続方法

モジュラーケーブルで電話回線とプリンターを接続しま す。お手持ちの6極2芯(RJ-11)のモジュラーケーブ ルを接続してください。

#### !重要

- 外付け電話機を接続するときのみ EXT. ポートの キャップを取り外してください。
- 電話線を分岐して電話機とプリンターを接続するな どのブランチ接続はしないでください。

## 参考

落雷が頻繁に発生する地域では、サージプロテクター のご使用をお勧めします。



## 構内交換機(PBX)

構内交換機を使った内線電話でご利用のときは、電話回線 と本製品の間に PBX などの制御装置があります。



#### ADSL/ISDN

ADSL 環境で使用するときは ADSL モデム(別にスプリッ ターが必要な場合もあります)、ISDN 回線で使用すると きはターミナルアダプターに接続してください。 設定の詳細はモデムまたはターミナルアダプターのマニュ アルをご覧ください。



#### 光回線

光回線で使用するときは IP 電話対応のブロードバンド ルーターに接続します。設定の詳細はご契約の回線業者様 に確認してください。



- (参考)

2回線契約していないときは必ずルーターの TEL1 (ポート名称はルーターにより異なります。A や 1 な どの先頭の番号)に接続してください。

# 電話機とプリンターの接続方法

1 つの電話回線で、ファクスも電話も使用したいときは、 お手持ちの電話機を外付け電話機としてプリンターに接続 します。



- ファクス機能付き電話機を外付け電話機として使用 するには、ファクス機能付き電話機のファクス機能 を停止してから使用してください。詳細はファクス 機能付き電話機のマニュアルをご覧ください。
- ナンバーディスプレイ機能や留守番電話機能を使う にはプリンターの設定が必要です。詳細は以下をご 覧ください。
  - ∠☞「メニュー一覧」-「ファクス設定」-「基本設定」 37ページ
  - △⑦「ファクス受信の方法」-「使い方から受信方法 を選択する」15ページ
  - プリンターの EXT. ポートからキャップを外 します。



2 プリンターと電話機をモジュラーケーブルで 接続します。



3 外付け電話機の受話器を上げて、プリンター の画面に「電話回線使用中です」のメッセー ジが表示されることを確認します。

# プリンターの設定

プリンターをファクスとして使うには設定が必要で 4 す。以下の2通りの方法で設定できます。 ファクス設定ウィザードで設定 個別に項目を選んで設定 プリンターを電話回線に接続してから設定してくだ さい。初回電源投入時にファクス設定したときは、 プリンターの設定は終了しています。引っ越しなど で環境が変わったときは設定し直してください。 [ファクス設定ウィザード] で設定する ファクスを使うために必要なプリンター設定を、画面の指 示に従って行います。「ファクス設定ウィザード」は初回 電源投入時にも自動で表示されます。 ホーム画面でセットアップモードを選択します。 [システム管理設定] - [ファクス設定] - [ファ 2 クス設定ウィザード]を選択します。 [開始]を押します。 3 この後は、画面の指示に従って進めます。 🦳 ファクス設定ウィザード i 5 電話回線に接続し、[開始]を 電品合称で良から、 押してください。 すぐに設定しないときは、 [閉じる]を押してください。 閉じる 開始

文字入力画面が表示されたら、発信元名(会社名や自分の名前など)と発信元番号(接続した回線の電話番号)を入力します。

入力方法は、以下をご覧ください。 Δア「文字の入力」39ページ



◆ 登録 スの・	<b>シノ</b> した発信 ヘッダ-	言元名と∮ −情報にな	発信元番号は、 います。	、送信ファ
2014	.04.22 10:30	山田花	0263XXXXXXX	PAGE: 1/ 1
			2014 年 コロのご案内	:4月XX日
	拝啓 春風 上げます。	の候、皆様におかれま 平素は、格別のご厚情:	しては、いよいよご清祥のことと を賜り、厚く御礼申し上げます。	お喜び申し
				$\sim \sim \sim$



[いいえ]:「自動」に設定されます。 [はい] :外付け電話機を使用する設定にして次の 画面に進みます。



[いいえ]:「手動」に設定されます。 [はい] :「ファクス/電話自動切替」に設定され ます。



#### 設定を確認します。

手順4~5で設定した内容が表示されているか確認し[次へ]を押します。

修正する場合は【戻る】ボタンを押してください。



#### [診断開始]を押します。

プリンターの接続や回線接続を確認して送受信が できる状態か確認します。



モノクロまたはカラーの【スタート】ボタン を押します(モノクロプリンターの場合は、 モノクロの【スタート】ボタンを押します)。

診断結果を印刷します。

8



ファクス診断レポートにエラーが表示されたら、 「対処方法」に従って対処します。

∠⑦「困ったときは」-「ファクス機能診断結果一覧」 26ページ

画面にメッセージが表示されたら画面に従って対 処してください。



9	[終了]を押します。
	# 機能診断実行
	以下の設定でファクスの機能診断を実行します。 [診断開始]を押してください。 ダイヤル種別: プッシュ 接続回線: 一般回線(PSTN) ダイヤルトーン検出: 終了 診断開始

以上で終了です。

# 項目を選んで設定する

[ファクス設定ウィザード] で受信モードなどの基本設定 をしてから、必要に応じてその他の項目を設定します。詳 細は以下をご覧ください。

△ア「メニュー一覧」-「ファクス設定」-「基本設定」 37ページ

#### 給紙装置を設定する(対応機種のみ)

複数の給紙装置(手差し給紙は除く)がある場合、受信文 書やファクスレポートの印刷で使用しない給紙装置を設定 します。初期値は全ての給紙装置が [オン] に設定されて います。写真用紙などの専用紙をセットしたときは設定す ることをお勧めします。

(参考)

給紙装置にセットした用紙の種類とサイズを設定する と、受信文書のサイズに合わせて自動で用紙を給紙す ることができます。A3 サイズやB4 サイズで受信す るときは(対応機種のみ)、用紙をカセットにセット しておいてください。詳細は『操作ガイド』(紙マニュ アル)または『ユーザーズガイド』(電子マニュアル) をご覧ください。

- 1 ホーム画面からセットアップモードを選択し ます。
- 2 [システム管理設定] [プリンター設定] [給 紙装置設定] を選択します。
- 3 [給紙口自動選択] [ファクス] を選択します。



# ファクス送信の基本操作

カラーまたはモノクロでファクスを送信します。原 稿に合わせて送信設定を変更できます。



 ファクスの送信時に、相手先が話し中などでつなが らないときは自動でリダイヤルします。リダイヤル 回数、リダイヤル間隔は変更できます。詳細は以下 をご覧ください。
 ∠ア「メニュー一覧」-「ファクス設定」35ページ

電話回線が使用中(通話やファクス動作中)でも、

- 送信予約ができます(モノクロメモリー送信最大 50件、ダイレクト送信1件)。送信予約文書は[ジョ ブ確認メニュー]の[ジョブモニター]で確認、削 除できます。
- 〔送信失敗文書保存〕を〔オン〕にしていると送信できなかった文書が保存され〔ジョブ確認メニュー〕の〔ジョブモニター〕から再送信ができます。
   ∠デ「メニューー覧」-「ファクス設定〕35ページ

# プリンターから直接ダイヤルする

操作パネルから宛先を指定して送信します。

1

原稿をセットします。

一度に送れる原稿は100ページまでです。





# 2 ホーム画面でファクスモードを選択します。



3 [ファクス番号を入力]を選択して、数字入力 画面 (またはテンキー) で宛先 (ファクス番号) を入力します。

- [履歴] や [アドレス帳] と組み合わせて、複数 の宛先(100 件または 200 件まで)が入力で きます。ただし、カラー送信は宛先1件のみです。
- [セキュリティー設定]で[直接ダイヤル制限]
   が設定されているときは、テンキーからは入力ができません。[アドレス帳]や[履歴]、ワンタッチボタンから入力してください。
- 外線発信番号を設定しているときは、電話番号の 先頭に「#」を入力してください。
- △⑦「メニュー一覧」-「ファクス設定」-「基本設定」 37ページ

4 必要に応じて画質や送信方法などを設定します。

[メニュー] - [送信設定] で設定値の変更ができます。 ファクス画面の設定値をタッチしても変更できます。 ☞ 「メニューー覧」 - 「ファクスモード」 33 ページ



(参考) [お気に入り](または【お気に入り】ボタン)を 押すと送信設定が [お気に入り] に登録できます。



【スタート】ボタンを押す前に、[プレビュー]を押 すと、送信内容を画面で確認できます。





この後は画面の指示に従って操作してください。 送信を中止するときは【ストップ】 ボタンを押してください。



ファクスを送信する前に通話したいときや、相手先が自動 でファクスに切り換わらないときに外付け電話機を使って 送信します。



原稿をセットします。

△ 「ファクス送信の基本操作」8ページ



外付け電話機の受話器を上げます。



外付け電話機から送信先にダイヤルをします。

4

| 「電話回線使用中です」のメッセージ画面で | [ファクス開始] を押してから [送信] を押し ます。



(参考)

**必要に応じて画質や送信方法などを設定します。** [メニュー] - [送信設定] で変更できます。

ファクス信号(ピー音)が聞こえたらモノク
 ロまたはカラーの【スタート】ボタンを押し
 て受話器を置きます。

外付け電話機からの送信時は、読み取りながら 送信するため時間がかかります。送信中は他の 操作はできません。

この後は画面の指示に従って操作してください。 送信を中止するときは【ストップ】 ボタンを押してください。

# いろいろな送信方法

# アドレス帳を使って送信する

原稿をセットします。

アドレス帳に相手先の電話番号を登録しておくと、ファク ス番号の入力が簡略でき、誤送信も防止できます。 アドレス帳の詳細は以下をご覧ください。 ∠☞「アドレス帳」24ページ

1

△ 「ファクス送信の基本操作」8ページ



ホーム画面からファクスモードを選択します。



6

ファクス画面で[アドレス帳]を押します。

リストから宛先を選択します。 チェックボックフをタッチすると選切<sup>-</sup>

チェックボックスをタッチすると選択できます。 解除するときは、もう1度タッチします。

[検索]を選択すると入力画面が表示されます。 登録名、よみがな、短縮番号で検索ができます。

**宛先を全て指定したら【確定】を押します。** 

 必要に応じて送信設定を変更します。

【スタート】ボタンを押します。

この後は画面の指示に従って操作してください。送信を中 止するときは【ストップ】ボタンを押してください。

# ワンタッチボタンから送信する (対応機種のみ)

頻繁に使用する電話番号はアドレス帳の1~10に登録 すればワンタッチボタンから呼び出せます。アドレス帳の 詳細は以下をご覧ください。 *C*アドレス帳|24ページ





ホーム画面からファクスモードを選択します。



**ワンタッチダイヤルから宛先を選択します**。 必要に応じて送信設定を変更します。

# **4** 【スタート】ボタンを押します。

この後は画面の指示に従って操作してください。送信を中 止するときは【ストップ】ボタンを押してください。

# オンフックダイヤルを使う (対応機種のみ)

相手先の音声ガイダンスに従って、送受信の操作をします。

- 1 原稿をセットします。
  - △ 「ファクス送信の基本操作」8ページ



- ホーム画面からファクスモードを選択します。
- 3

【オンフック】を押します。 オンフックの画面が表示され、ツー音が聞こえます。

4 アドレス帳、テンキー(数字キー)で宛先を 入力します。

ダイヤル発信音が聞こえます。



5 音声またはファクス信号(ピー音)が聞こえ たら [送受信開始] を押して [送信] を押し ます。

> 音声ガイダンスが流れたときは、ガイダンスに従っ て数字を入力してから [送受信開始] を押してくだ さい。

6 【スタート】ボタンを押します。



# 受信相手の操作で送信する (ポーリング送信)

ポーリング送信用にファクス文書を蓄積して、ポーリング 機能のある他のファクス機の操作で蓄積ファクスを送信で きます。

ポーリング送信用の蓄積文書は 1 ファイル 100 ページま でのモノクロのみ可能です。

#### 原稿をセットします。

∠ ア「ファクス送信の基本操作」8ページ



ホーム画面からファクスモードを選択します。

3 [メニュー] を押して、[ポーリング送信] で [オ ン] を選択します。

必要に応じて送信設定を変更します。

4 モノクロの [スタート] ボタンを押します。 以前に蓄積したポーリング送信用文書が残ってい るときはポーリング文書上書き確認画面が表示さ れます。

# 同じ宛先の送信文書をまとめて送信 する(バッチ送信)

同じ宛先に送信する複数の予約文書を、最大5文書、 100ページまで自動でまとめて送信できます。通信回数 を減らせるため通信費が削減できます。



- 時刻指定送信文書は、宛先と時刻が一致したときの みです。
- ダイレクト送信や優先予約、PC-FAX 送信、カラー 送信文書などのファクスは対象外です。



ホーム画面からセットアップモードを選択し ます。



[システム管理設定] - [ファクス設定] - [送 信設定] を選択します。



# A4 縦置き原稿を回転送信する (回転送信)(A3 サイズ対応機種のみ)

A4 縦置き原稿を回転させて A4 文書として送信します。 相手先で A3 用紙に A4 サイズで印刷されたり、A4 用紙 に A5 サイズで印刷されるなどのトラブルを防ぎます。 (PX-M5041F/PX-M5040F は ADF に原稿をセットし たときのみ有効)



- [システム管理設定]-[ファクス設定]-[送 「信設定]を選択します。
- 3 [回転送信] で [オン] を選択します。 初期値は [オン] です。 ☞ 「メニューー覧」-「ファクス設定」35ページ

<出力例>

送信側 A4 縦置きにセット



#### 受信側

[オフ] の設定で送信 A3 に印刷



A4 に縮小



[オン] の設定で送信 90°回転処理をした送信文書を A4 用紙に印刷



# 大量ページのモノクロ原稿を送信する (ダイレクト送信)

モノクロ原稿は通常メモリー送信するため、大量のページ をファクスするときにプリンターのメモリーが不足して送 信できないことがあります。ダイレクト送信にすると送信 できます。

#### 参考

複数の宛先を設定しているときはできません。

ホーム画面からファクスモードを選択して[メニュー]-[送 信設定] - [ダイレクト送信] を [オン] に設定します。

# 優先してファクスを送信する(優先送信)

送信待ち原稿があるときでも、急ぎの原稿を優先して送信 することができます。ただし、ダイレクト送信や手動送信、 カラーファクス送信、PC-FAX送信より優先することは できません。

ホーム画面からファクスモードを選択して[メニュー]-[送 信設定]-[優先送信]を[オン]に設定します。

# 異なるサイズの原稿を ADF から 送信する

ADF から異なるサイズの原稿を一つの文書として送信す ることができます。ただし、原稿サイズごとにセットして 送信するか、1枚ずつセットして送信する必要があります。 原稿の追加は画面の指示に従ってください。

# 参考

- 異なるサイズの原稿を一度にセットすると、セット した原稿の最大サイズで全ての原稿が送信されます。
- 次の原稿をセットする案内が表示されたら 20 秒以 内に[はい]を押さないと蓄積が終了して送信され ます。

ホーム画面からファクスモードを選択して[メニュー]-[送 信設定] - [ADF 原稿追加]を[オン] に設定します。

# コンピューターからファクスを送信する

コンピューターに「FAX Utility」をインストールすると、 PC-FAX ドライバーを使ってファクス送信できます。 「PC-FAX ドライバー」はアプリケーションソフトで作成 した文書などのデータを、コンピューターからそのまま ファクス送信するソフトウェアです。

「FAX Utility」、「PC-FAX ドライバー」のインストール 方法や起動方法は、『ユーザーズガイド』(電子マニュアル) をご覧ください。操作方法は、「FAX Utility」、「PC-FAX ドライバー」のヘルプをご覧ください。[ヘルプ]または[?] をクリックすると、ヘルプが表示されます。

# ファクス受信の方法

ファクス受信モードには、以下の3通りがあります。

- プリンターだけで受信(自動受信)
- 外付け電話機で受けてから受信(手動受信)
- ファクスと通話を自動判別して受信(ファクス/ 電話自動切替)

受信方法がわからない方は以下をご覧ください。 ∠☞「使い方から受信方法を選択する」15ページ



モノクロプリンターはカラー文書の受信はできませ ん。モノクロ文書のみ受信します。

# 受信モードを設定する

受信モードを設定します。



ホーム画面でセットアップモードを選択します。

2 [システム管理設定] - [ファクス設定] - [受 信設定] を選択します。



[受信モード] を選択します。

[自動]・[手動]・[ファクス / 電話自動切替] から 選択します。

## 自動受信

自動受信はファクス専用でご使用になる方やファクス利用 が多い方にお勧めです。

設定した回数(初期値は5回)の着信音が鳴り終わると、 自動的にファクス受信を開始します。初期値は自動受信に 設定されています。

#### !重要

外付け電話機を接続しないときは、必ず自動受信モー ドに設定してください。

参考

[呼び出し回数]の設定は、以下をご覧ください。 ∠☞「メニュー一覧」-「ファクス設定」35 ページ

## 手動受信

ファクス利用が少ない方や一度電話に出てから受信したい 方にお勧めです。

外付け電話機で電話を受けてからプリンター操作で受信を 開始します。

参考

リモート受信を設定しておくと、プリンターで操作し なくても外付け電話機だけで受信が開始できます。 ∠☞「いろいろな受信方法」-「外付け電話機だけで受 信する(リモート受信)」17ページ

#### ■手動受信の操作

- | 外付け電話機の呼び出し音が鳴ったら受話器 | を上げます。
- 2 ファクス信号(ポー音)が聞こえたら操作パ ネルの [ファクス開始] を押します。
- 3 [受信]を押して、モノクロまたはカラーの【ス タート】ボタンを押してから、受話器を置き ます。

# ファクス / 電話自動切替

ファクス/電話自動切替は1つの電話回線しかないが、 ファクスも電話も使用したい方にお勧めです。着信時に ファクス受信または音声通話なのかをプリンターが自動で 判断します。

相手がファクスの場合は自動で受信を開始し、音声通話の 場合は外付け電話機を鳴らします。

!重要

外付け電話機を呼び出しているときにも、発信者に課 金されます。

# 使い方から受信方法を選択する

ご使用の環境に合わせて受信方法を選択してください。初期値は[自動]に設定されています。

外付け電話機	使用環境	受信モード	動作
接続しない	電話回線をファク ス専用で使用する	自動	着信音が鳴る (初期値は5回) 、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、
接続する       電話回線が1回 線でファクスも電 話も使用するが、 ファクスは自動で 受信したい       ファクス/ 電話自動切替         着信音が鳴る (初期値は5回)         うかか ・ ・ ・ 		ファクス / 電話自動切替	<ul> <li>着信音が鳴る (初期値は5回)</li> <li>ブァクスのとき</li> <li>電話のとき</li> <li>電話のとき</li> <li>電話のとき</li> <li>受話器を取って通話する</li> <li>受話器を取らない 設定した[電話呼び出し回数を0回にすると、プリンターと外付け電話機の着信音は 鳴りません。</li> <li>プリンターのメモリーが不足してファクス受信ができないときは、プ リンターと外付け電話機の両方が鳴ります。</li> </ul>
	電話回線が 1 回 線で、主に通話で 使用	手動	「着信音が鳴る     「、 ト 」     「         ・・・         ・・・         ・・・



表示できません

# いろいろな受信方法

# ポーリング受信する

相手先のファクス機にダイヤルして、蓄積されたポーリン グ用文書を受信します。ファクス情報サービスなどから情 報を受け取るときに使用します。

WH I
音声ガイダンスのファクス情報サービスを利用すると
きはポーリング受信は使用せず [オンフック](対応
機種のみ)でダイヤルするか、外付け電話機を使用し
て接続してください。



3

+++

ホーム画面からファクスモードを選択します。

[メニュー]を押して、[ポーリング受信]を 選択します。

[オン]を選択してファクス番号を入力します。

- [セキュリティー設定] で [直接ダイヤル制限] を設定しているときは、テンキーからは入力がで きません。[アドレス帳] や [履歴] から設定し てください。
- 頻繁にポーリング受信する宛先はアドレス帳に登録しておくと便利です。

4 モノクロまたはカラーの【スタート】ボタン を押します。

> 受信を中止するときは【ストップ】ボタンを押して ください。

# 外付け電話機だけで受信する (リモート受信)

手動受信では受話器を上げた後にプリンターの操作が必要 です。リモート受信を設定しておくと外付け電話機の操作 だけでファクス受信できるようになります。

## リモート受信を設定する



ホーム画面でセットアップモードを選択します。



[システム管理設定] - [ファクス設定] - [受 信設定] を選択します。

- 3 [リモート受信] で [オン] を選択します。
- 4 [起動コード]を選択し、2桁(0-9、\*、#の 組み合わせ)の数字を入力します。 初期値は[\*\*]です。

[決定]を押します。

# リモート受信する

リモート受信の操作はトーン信号(ピッポッパッ)に対応 した電話機のみです。

- 1 外付け電話機の着信音が鳴ったら受話器を上 げます。
- 2 ファクス信号(ポー音)を確認したら、設定し た起動コードを外付け電話機から入力します。



受信を開始したら受話器を置きます。

# 受信したファクスを画面で見る

# 受信文書の処理方法

受信した文書は、印刷、保存、転送のいずれかの方 法で処理できます。また印刷と保存など組み合わせ ることもできます。

# 印刷する

保存や転送をしない受信文書は印刷されます。設定をすれ ば用紙サイズに合わせて最適な印刷をしたり、受信文書の 印刷を停止しておくことができます。

## 参考

転送や保存をしていても印刷したいときは、以下をご 覧ください。 ∠☞「保存する」18ページ ∠☞「転送する」20ページ

#### 印刷設定を変更する



ホーム画面でセットアップモードを選択します。

 2 [システム管理設定] - [ファクス設定] を選 択します。

> プリンターに管理者を設定しているときは、管理者 のみ設定ができます(対応機種のみ)。



[出力設定]を選択して、以下の項目を設定し ます。

項目名	説明
自動縮小印刷	∠☞「メニュー―覧」-「ファクス設定」
自動回転印刷	35 ~->
正順出力	
印刷停止時間 の設定	

#### 保存する

受信文書を、プリンターの受信ボックスやUSBフラッシュ メモリーなどの外部メモリーに保存したり、コンピュー ターに直接保存したりできます。

## 受信ボックスに保存する

全ての受信文書を受信ボックスに保存します。受信ボック スの文書は自動で印刷されません。プリンターの画面で確 認して、必要があれば印刷します。

#### ■設定する

受信文書を受信ボックスに保存する設定をします。

1

- ホーム画面でセットアップモードを選択します。
- 2 [システム管理設定] [ファクス設定] [出 力設定] を選択します。

プリンターに管理者を設定しているときは、管理者 のみ設定ができます(対応機種のみ)。

- 3 [受信ファクスの処理]を選択します。 現在の設定が表示されます。
- 4 [設定変更] を押して [受信ボックスに保存] を選択します。



■ 文書を確認する(画面で見る)

受信ボックスの受信文書をプリンターの画面で確認します。

1 ホーム画面に、未処理のファクス文書(新着 または未転送など)を知らせるアイコンが点 灯したのを確認します。





確認したら [メニュー] を押して、文書の処 理(印刷や削除など)を選択します。

受信ボックスに蓄積された受信文書がメモリー容 量を超えるとファクスの受信ができなくなります。 受信後は速やかに受信文書を確認して削除するこ とをお勧めします。

## 外部メモリーに保存する

受信文書を外部メモリーに保存します。外部メモリーに保 存された文書はプリンターから削除されます。

外部メモリーをセットして使用してください。外部メ モリーがセットされていないと、プリンター本体のメ モリーに保存されるためメモリーが不足し送受信がで きなくなります。

#### ■外部メモリーにフォルダーを作成する

外部メモリーに受信文書を保存するには、外部メモリーに受 信文書保存用のフォルダーを作成しておく必要があります。 対応する外部メモリーは『操作ガイド』(紙マニュアル) または『ユーザーズガイド』(電子マニュアル)をご覧く ださい。

- 1 外部メモリーをセットして、ホーム画面でセッ トアップモードを選択します。
- 2 [システム管理設定] [ファクス設定] [出 力設定] - [受信ファクス処理] を選択します。
- 3 [受信ファクスの処理] 画面で[設定変更] を 押します。
- 4 [その他の設定] [保存専用フォルダーの作成] で[作成開始]を押します。

フォルダー作成が終わると[その他の設定]画面に 戻ります。

- 外部メモリーに保存する設定をする
  - ホーム画面でセットアップモードを選択します。
- 2 [システム管理設定] [ファクス設定] [出 力設定] を選択します。

プリンターに管理者を設定しているときは、管理者 のみ設定ができます(対応機種のみ)。

8 【受信ファクスの処理】を選択します。 [受信ファクスの処理] 画面が表示されます。



5

[設定変更]を押して [外部メモリーに保存] を選択します。

【オン】を選択します。 【オン(印刷もする)】を選択すると、外部メモリー への保存と印刷が同時にできます。



外部メモリーに保存した文書は PDF 形式で保存されるため、プリンターの「外部メモリーから印刷モード」で印刷できます(対応機種のみ)。

## コンピューターに保存する

受信文書をコンピューターに保存するには FAX Utility で 設定します。コンピューターに保存された受信文書はプリ ンターから削除されます。

(参考)

コンピューターを起動してください。保存するコン ピューターが起動していないと、プリンター本体のメ モリーに保存されるためメモリーが不足し送受信がで きなくなります。

#### ■「FAX Utility」の設定をする

「FAX Utility」はファクスの送受信や各種設定を行うソ フトウェアです。インストール方法や起動方法は、『ユー ザーズガイド』(電子マニュアル)をご覧ください。また 「FAX Utility」の使い方は「FAX Utility」のヘルプをご 覧ください。

#### ■プリンターを設定する

コンピューターに保存する受信文書を、プリンターでも印 刷する設定をします。

1

ホーム画面でセットアップモードを選択します。



[システム管理設定]-[ファクス設定]-[出 力設定]を選択します。

プリンターに管理者を設定しているときは、管理者 のみ設定ができます(対応機種のみ)。

3 [受信ファクスの処理]を選択します。 [受信ファクスの処理] 画面が表示されます。



# 5 [オン(印刷もする)]を選択します。

[オン (印刷もする)] を選択すると、コンピューター への保存と印刷が同時にできます。 [オフ] を選択すると、コンピューターへの保存を 解除することができます。

#### 転送する

受信文書を他のファクス機に直接転送したり、コンピュー ターを使わずにプリンターから直接ネットワーク上の指定 フォルダーやEメールアドレスに転送したりできます。 転送した受信文書は、プリンターから削除されます。 他のファクス機に転送する場合、カラーの文書は転送でき ません。転送失敗文書として処理されます。



転送結果レポートの設定をすると、転送終了時にレ ポートが印刷されます。 ∠☞「その他のファクス機能」-「各種レポート、リス ト印刷」22ページ

#### 転送先を設定する

受信文書の転送先はアドレス帳から選択します。事前にア ドレス帳に登録しておいてください。他のファクス機に転 送するときは、転送先を選択する画面で[メニュー]-[宛 先登録]の順に選択し、そこで新たな宛先を追加すること もできます。

∠☞「アドレス帳」 24ページ

!重要

- ネットワーク上のフォルダーやEメールアドレスに 転送するときは、プリンターのネットワーク設定を 確認してください。ネットワーク設定の詳細は『ネッ トワークガイド』をご覧ください。
- Eメールアドレスに転送するときは、必ずメールサー バーの設定もしてください。
- \_☞「メールサーバーの設定」 38 ページ
- プリンターの[日付 / 時刻] 設定が正しく設定されていることを確認してください。

1 ホーム画面からセットアップモードを選択し ます。

2 [システム管理設定] - [ファクス設定] - [出 力設定] を選択します。

> プリンターに管理者を設定しているときは、管理者 のみ設定できます(対応機種のみ)。

3 [受信ファクスの処理] を選択して [設定変更] を押します。



# その他のファクス機能

# 各種レポート、リスト印刷

ファクスに関する各種レポートが印刷できます。また、レ ポートによっては自動印刷やレポートに画像の一部を添付 する設定ができます。

## レポートを印刷する

トラブルなどで、レポートが必要なときに印刷します。



力設定]を選択します。

プリンターに管理者を設定しているときは、管理者 のみ設定ができます(対応機種のみ)。

[転送結果レポート] または [通信管理レポー 3 ト自動印刷〕を設定します。

項目名	設定値
転送結果レポート	[エラー時のみ]*・[オン]・[オフ]
通信管理レポート 自動印刷	[オフ]*・[オン(30 件毎)]・ [オン(指定時刻)]

初期値は\*で表示しています。

■ レポートの出力形式



ホーム画面でセットアップモードを選択します。

2

#### [システム管理設定] - [ファクス設定] - [出 力設定]を選択します。

プリンターに管理者を設定しているときは、管理者 のみ設定ができます(対応機種のみ)。

[結果レポート内画像添付] または [レポート 3 形式]を設定します。

項目名	設定値
結果レポート内画 像添付	[添付しない] *・[添付する(画 像大)]・[添付する(画像小)]
レポート形式	[簡易情報] *·[詳細情報]

初期値は\*で表示しています。

## セキュリティー設定をする

ファクスの誤送信や、受信ファクスの紛失や放置による機 密漏えいを防ぐためセキュリティーを設定します。また バックアップデータの削除方法も選択できます。



2

#### ホーム画面でセットアップモードを選択します。



#### [システム管理設定]-[ファクス設定]-[セキュ リティー設定]を選択します。

プリンターに管理者を設定しているときは、管理者 のみ設定ができます(対応機種のみ)。



#### 項目を選択して、設定します。

項目名	説明
直接ダイヤル制限	_☞「メニュー―覧」-「ファク
宛先一覧確認	人設定」35ページ
受信ボックスパス ワード設定	
バックアップデータ 自動消去	
バックアップデータ を消去	

# ファクスジョブを確認する

[ジョブ確認メニュー]からファクス文書の状況を確認で きます。[ジョブ確認メニュー]の詳細は『操作ガイド』(紙 マニュアル)または『ユーザーズガイド』(電子マニュアル) をご覧ください。

# 実行中のファクスジョブを確認する

印刷前の受信文書や送信前のファクス文書、蓄積文書など を表示します。



#### 操作パネルの【ジョブ確認】ボタンを押します。

[ジョブ確認メニュー] 画面が表示されます。

🕡 ジョブ確認メニュー	
🥑 プリンター情報	
👌 ジョブ履歴	
1 ジョブストレージ	
🛃 パスワード印刷 (10)	



# 確認したいジョブを選択します。

[ジョブ詳細情報] 画面が表示されます。画面に表示されたボタン操作で削除などができます。

## ジョブ履歴を確認する

ファクスの送受信が終了した文書は、[受信ジョブリスト] と[送信ジョブリスト]に保存されます。 [送信ジョブリスト]には送信文書は保存されません。宛 先や通信結果を送信情報としてリストで表示します。

# 

受信文書は再印刷ができるため [ジョブ履歴]の [受 信ジョブリスト] に保存されますが、メモリーが不足 すると古い順から自動で削除されます。



**操作パネルの【ジョブ確認】ボタンを押します**。 〔ジョブ確認メニュー〕画面が表示されます。

2 [ジョブ履歴] - [受信ジョブリスト] または [送 信ジョブリスト] を選択します。



[ジョブ詳細情報] 画面が表示されます。画面に表示されたボタン操作で、再印刷などができます。

## 受信ボックスの文書を確認する

受信ボックスに保存した文書を確認できます。

新着受信文書を確認するときは、以下をご覧ください。

∠⑦「受信ボックスに保存する」-「文書を確認する(画面 で見る)」18ページ

受信ボックスの全ての受信文書を確認するときは、【ジョ ブ確認】ボタンを押して、[ジョブストレージ] - [受信ボッ クス] を選択してください。

# アドレス帳

アドレス帳を使うとファクス番号の入力が簡単に できます。アドレス帳への登録は、発着信履歴や FAX Utility からもできます。

# プリンターのアドレス帳に登録する

頻繁に利用する宛先をアドレス帳から呼び出せます。また グループ登録すると複数の宛先に同時に送信できます。

- 参考
- アドレス帳の登録は、ファクス番号とメールアドレス、保存先フォルダーを合わせて200件(または100件)まで登録できます。
- セキュリティーとして直接ダイヤルを禁止する機能
   を使うにはアドレス帳の登録が必要です。
- 外線発信番号を登録していて、外線へのファクス番号を登録するときは電話番号の先頭に「#」を付けて登録してください。
   例)#026352XXXX
- ・メールアドレスを使用するには、アドレス帳登録の 他に、メールサーバーの設定が必要です。
   ∠☞「メールサーバーの設定」38ページ

## 宛先を登録する

- **ホーム画面で[アドレス帳]を選択します**。 アドレス帳リストが表示されます。
- 2 [メニュー] を押して、[宛先登録] を選択し ます。
- 3 [ファクス] を選択します。 受信文書の転送先として、Eメールアドレスを登録
  - するときは [メール]を、ネットワーク上のフォル ダーを登録するときは、[フォルダー]を選択します。
- **登録する短縮番号を選択します。** 

   1 ~ 10 に登録するとワンタッチダイヤルから呼び 出せます(対応機種のみ)。

ファクスで必要な情報を登録します。
[登録名] と [よみがな (検索名)]、[ファクス番号]、
[ファクス通信モード] を入力します。表示されない項目は画面をスクロールします。
入力方法は、以下をご覧ください。
②「文字の入力」39ページ

[登録] を押します。

●グループを登録する ホーム画面で [アドレス帳]を選択します。 [メニュー]を押して、[グループ登録]を選 2 択します。 [ファクス] を選択します。 3 メールもグループ登録できます。 登録する短縮番号を選択します。 4 [登録名] と [よみがな (検索名)] を選択して、 5 ソフトキーで入力したら [次へ] を押します。 入力方法は、以下をご覧ください。 △ 「文字の入力」 39 ページ アドレス帳リストが表示されるので、グルー 6 プにするアドレス帳を全て選択します。 チェックボックスをタッチすると選択できます。解 除するときは、もう一度タッチします。 [▲] [▼] または画面を指で上下にフリックすると 画面が移動します。 🔄 ファクス ● 検索 山田 **V** 001 004 🃬 エプソン **V** 005 🏙 田中 ☞ 佐藤 **X**006 V 中止 登録 [登録] を押します。 7 発着信履歴から登録する 発着信履歴から、アドレス帳への登録ができます。 ホーム画面でファクスモードを選択します。

[履歴]を押して、発着信履歴を表示します。

2

6

アドレス帳

○ 検索

確定

メニュー



プリンターに登録したアドレス帳の一覧を印刷できます。 ホーム画面で【アドレス帳】を選択します。 各宛先(ファクス、メール、フォルダー)ごと 印刷したいときは、[表示切替] で印刷したい 宛先を選択してください。

[メニュー] - [アドレス帳印刷] を選択して、 モノクロまたはカラーの【スタート】ボタン

# LDAP サーバーのアドレス帳を 利用する(対応機種のみ)

ご利用の LDAP サーバーのアドレス帳をプリンターでも

[LDAP 検索]を選択して登録名で検索すると、ファクス 番号やメールアドレスのリストが表示されます。使用する には、あらかじめ LDAP サーバーの設定が必要です。 詳細は、『システム管理者ガイド』(電子マニュアル)をご

LDAP アドレス帳から取得した情報は、プリンターの アドレス帳に登録できます。LDAP アドレス帳から情 報を取得してから「登録」を押してください。

# 困ったときは

# ファクス機能診断結果一覧

ファクス機能診断レポートの対処方法は以下をご覧ください。

ファクス機能診断はホーム画面から [セットアップ] - [システム管理設定] - [ファクス設定] - 「ファクス機能診断」で実施 します。

診断結果	対処方法
正常です。	ファクスは問題なく送受信できます。
電話回線に正しく接続されていません。	接続方法が間違っています。モジュラーケーブルの接続をやり直してください。 ∠☞「電話回線を接続」4ページ
モジュラーケーブルが EXT. ポートに 接続されています。	接続方法が間違っています。モジュラーケーブルの接続をやり直してください。 ∠☞「電話回線を接続」4ページ
ダイヤルトーン検出できませんでした。	回線接続時に回線側からダイヤルトーンが聞こえない、または標準的なダイヤル トーンでないため検出できません。
	<ul> <li>一般回線以外 (PBX や ADSL、ISDN など)で使用しているときは [セットアップ] - [システム管理設定] - [ファクス設定] - [ファクス基本設定] - [接続回線] で [構内交換機 (PBX)] に設定してください。</li> </ul>
	• [セットアップ] - [システム管理設定] - [ファクス設定] - [基本設定] - [ダ イヤルトーン検出] を [オフ] に設定してください。ただし、電話番号の最初 が抜けるなどで間違った電話番号にダイヤルするおそれがあります。
回線状態が不安定です。	スプリッターなどの装置により信号が弱くなることがあります。 電話回線とプリンターを直接接続して再度機能診断を実施してください。診断結 果に問題がないときはスプリッターなどの装置に問題があります。接続装置のマ ニュアルをご覧ください。エラーが表示されたときは使用している電話回線に問 題があります。ご契約の回線業者様に確認してください。
プリンター本体に異常が見つかりました。	エプソンのインフォメーションセンターに問い合わせてください。問い合わせ先 は『操作ガイド』(紙マニュアル)または『ユーザーズガイド』(電子マニュアル) をご覧ください。

# エラーコード一覧

ジョブ履歴に表示されたエラーコードの対処方法はこちらで確認できます。記載のないエラーコードが表示されているときは 『操作ガイド』(紙マニュアル)または『ユーザーズガイド』(電子マニュアル)をご覧ください。 対処方法がわからないときは、以下をご覧ください。 ��「困ったときは」-「トラブル対処」28ページ

コード	状況	対処方法
109	受信文書が削除されたため再印刷でき ません。	_
201	201 ファクス送信または受信中にメモリー が一杯になりました。	• 複数枚の原稿は分割して送信してください。
		• 1 つの宛先にモノクロで送信する場合は、ダイレクト送信を利用 すると送信できます。
		• [ジョブ確認メニュー] の [ジョブモニター] で、印刷されてい ない受信ファクスを印刷してください。
		• [ジョブ確認メニュー]の [ジョブストレージ] で、受信ボック スに保存されているデータを削除してください。

コード	状況	対処方法
202	ファクス送信または受信中に、相手の ファクス機によって通信が切断されまし た。	しばらく時間を置いて、再送信するか相手先に確認してください。
203	ダイヤルトーンが検出できません。	セットアップモードの [システム管理設定] - [ファクス設定] - [基 本設定] - [ダイヤルトーン検出] を [オフ] に設定してください。
204	相手のファクス機が話し中です。	相手先が話し中のため、ファクス送信ができません。 時間を置いてから、再送信してください。
205	相手のファクス機が応答しません。	しばらく時間を置いて、再送信してください。
206	モジュラーケーブルが正しく接続され ていません。	プリンターのLINE ポートとEXT. ポートの接続を確認してください。 ∠37「電話回線を接続」4ページ
207	モジュラーケーブルが正しく接続され ていません。	モジュラーケーブルを電話回線に接続してください。 ∠3~「電話回線を接続」 4 ページ
208	複数の宛先の内、いくつかの宛先にファ クス送信できませんでした。	ファクスモードの[レポート印刷]で通信結果レポートを印刷し、 送信できなかった宛先を確認してください。 送信失敗文書を保存する設定にしている場合は、[ジョブ確認メ ニュー]の[ジョブモニター]から再送信できます。
401	外部メモリーの容量が不足しています。	外部メモリーの容量を増やしてください。
402	外部メモリーが書き込み禁止になって います。	外部メモリーの書き込み禁止を解除してください。
404	外部メモリーが取り外されました。	外部メモリーを再度接続してください。
405	受信文書を外部メモリーへ保存中に書 き込みエラーが発生しました。	<ul> <li>外部メモリーを接続し直してください。</li> <li>ファクス用のフォルダーを作成した別の外部メモリーを接続してください。</li> </ul>
411/421	サーバー(メール / フォルダー)の DNS 設定エラーが発生しました。	• 操作パネルのセットアップモードの [システム管理設定] - [ネットワーク設定] - [ネットワーク詳細設定] - [DNS サーバー] で、 DNS 設定を確認してください。
		<ul> <li>サーバー、コンビューター、アクセスボイントの DNS 設定を確認してください。</li> </ul>
412	メールサーバーの認証エラーが発生し ました。	操作パネルのセットアップモードの [システム管理設定] - [ネットワーク設定] - [ネットワーク詳細設定] - [メールサーバー] - [サーバー設定] で、以下の設定を確認してください。
		● 認証方式(SMTP サーバーアドレスとポート)
		● 認証方式(POP3 サーバーアドレスとポート)
		● アカウント名
		● ハスワート   ∠〒「メールサーバーの設定  38 ページ
413	ファクスの転送(メール)で通信エラー が発生しました。	<ul> <li>ネットワーク接続を確認してください。詳細は『ネットワークガ イド』をご覧ください。</li> </ul>
		<ul> <li>メールサーバーの設定を確認して、メールサーバーの接続診断をしてください。</li> <li>プ「メールサーバーの設定」38ページ</li> </ul>
		• 指定した認証方法とメールサーバーの認証が合っていない可能 性があります。[オフ]を選択した場合は、メールサーバーの認 証が None(なし)かどうかを確認してください。
422	転送先フォルダーの認証エラーが発 生しました。	転送先フォルダーの設定を確認してください。 ∠☞「受信文書の処理方法」-「転送する」20 ページ

コード	状況	対処方法
423	ファクスの転送(フォルダー)で通信 エラーが発生しました。	<ul> <li>ネットワーク接続を確認してください。詳細は『ネットワークガ イド』をご覧ください。</li> <li>転送先の設定を確認してください。</li> <li>⑤「受信文書の処理方法」-「転送する」20ページ</li> <li>転送先フォルダー内の同名ファイルが開いているか、読み取り専 用の可能性があります。ファイルを閉じるか、プロパティを確認 してください。</li> </ul>
425	転送先フォルダーの容量が不足してい るため、文書を転送できません。	転送先フォルダーの空き容量を増やしてください。
428	指定した転送先フォルダーが存在しま せん。	転送先の設定を確認してください。 ∠☞「受信文書の処理方法」 - 「転送する」 20 ページ

# トラブル対処

現象	対処方法
受信も送信もできない	<ul> <li>ファクス機能診断をしてください。</li> <li>プ「困ったときは」-「ファクス機能診断結果一覧」26ページ</li> </ul>
	<ul> <li>ファクスの送受信ができなかったジョブのエラーコードを確認してください。</li> <li>エラーコード一覧から対処方法をお試しください。</li> </ul>
	C3  困ったときは」-  エラーコード一覧」26ページ
	● 接続回線の設定を確認してくにさい。【備内交換機(PBX)】に設定すると通信できることがあります。また外線発信番号が必要な環境では外線発信番号を設定するか電話番号の先頭に外線発信番号を入れてください。
	∠☞「メニューー覧」-「ファクス設定」-「基本設定」37 ページ
	• 通信モードを [9.6kbps (G3)] にしてください。
	⊿☞「メニューー覧」-「ファクス設定」-「基本設定」37 ページ
	<ul> <li>電話回線に直接電話機を接続して、電話の発着信ができるか確認してください。</li> <li>正常に動作しないときはご契約の回線業者様に確認してください。</li> </ul>
	<ul> <li>構内交換機(PBX)タイプの ISDN 回線専用環境で使用するときは、ご契約の回線業者様に確認してください。</li> </ul>
	<ul> <li>電話回線の接続でブロードバンドルーターやターミナルアダプターなどを使用しているときは、電源を入れ直してください。</li> </ul>
	上記の対応をしても改善しないときは、お手元に通信管理レポートを印刷してか らエプソンのインフォメーションセンターに問い合わせてください。問い合わせ 先は『操作ガイド』(紙マニュアル)または『ユーザーズガイド』(電子マニュアル) をご覧ください。
	ムア「その他のファクス機能」-「各種レポート、リスト印刷」22ページ

現象	対処方法
送信できない	<ul> <li>ファクス機能診断をしてください。</li> </ul>
	∠☞「困ったときは」-「ファクス機能診断結果一覧」26 ページ
	<ul> <li>ファクスの送信ができなかったジョブのエラーコードを確認してください。エラーコード一覧から対処方法をお試しください。</li> </ul>
	∠☞「困ったときは」-「エラーコードー覧」26 ページ
	• ダイヤル種別の設定を確認してくだい。
	△☞「メニュー一覧」-「ファクス設定」-「基本設定」37 ページ
	<ul> <li>接続回線の設定を確認してください。[構内交換機(PBX)] に設定すると通信できることがあります。また外線発信番号が必要な環境では外線発信番号を設定するか電話番号の先頭に外線発信番号を入れてください。</li> </ul>
	∠☞「メニューー覧」-「ファクス設定」-「基本設定」37 ページ
	● 通信モードを [9.6kbps(G3)] にしてください。
	∠☞「メニュー一覧」-「ファクス設定」-「基本設定」37ページ
	<ul> <li>ダイヤルトーン検出を [オフ] に設定してください。ただし、電話番号の最初 が抜けるなどで間違った電話番号にダイヤルするおそれがあります。</li> </ul>
	<ul> <li>送信先によっては発信元番号が登録されていないと受け付けないことがあります。発信元番号を登録してください。</li> </ul>
	⊿☞「メニュー一覧」-「ファクス設定」-「基本設定」37 ページ
	• 電話番号を非通知設定にしているときは、宛先番号の先頭に 186 を付けて発信してみてください。
	  ● 送付先の電話番号が正しいか確認してください。
	• 送信先のファクスが受信できる状態か、送信先に確認してください。
	上記の対応をしても改善しないときは、お手元に通信管理レポートを印刷してからエプソンのインフォメーションセンターに問い合わせてください。問い合わせ 先は『操作ガイド』(紙マニュアル)または『ユーザーズガイド』(電子マニュアル) をご覧ください。 レポートの印刷方法は以下をご覧ください。 ペア「その他のファクス機能」-「各種レポート、リスト印刷」 22 ページ
メモリー不足のメッセージが表示された	
	● 今年ボックフの主語主たけ呼請の文書を印刷するか削除してください
	<ul> <li>● 外部機器(コノビューターなど)に受信文書を味存する設定のときは、外部機器に受信文書が保存されているか確認してください。</li> </ul>
	• ダイレクト送信を行うか原稿を分けて送信してください。
	■受信で発生したとき
	<ul> <li>紙詰まりやインクカートリッジの交換が必要なときなどプリンターのエラーが 発生して印刷できなかった場合は、エラーを解除してから送信元に再送信を依 頼してください。</li> </ul>
	• 受信ボックスの未読または既読の文書を印刷するか削除してください。
	• 外部機器(コンピューターなど)に受信文書を保存する設定のときは、外部機器に受信文書が保存されているか確認してください。
	■外部メモリーに保存で発生したとき
	<ul> <li>外部メモリーが挿入されていないか、メディアの空き容量不足、書き込み禁止になっていないか確認してください。</li> </ul>

現象	対処方法
特定の送信先にファクス送信できない (毎回エラーが表示される)	<ul> <li>ファクスの送信ができなかったジョブのエラーコードを確認してください。</li> <li>エラーコード一覧から対処方法をお試しください。</li> <li>ピア「困ったときは」-「エラーコード一覧」26ページ</li> <li>ダインリ 約7% FO 秒間は送信をの広然をなたまますが、広然までに FO 秒011</li> </ul>
	● タイヤル終了後500秒間は送信先の応答を待ちますが、応答までに50秒以上 かかるとエラーになります。手動ダイヤルでファクス信号(ピー音)が聞こえ るまでの時間を確認してください。
	△ 2 「ファクス送信の基本操作」-「外付け電話機からダイヤルする(手動送信)」 9 ページ
	50 秒以上かかる場合は、電話番号 + [ポーズ]を入力して送信してください。 ポーズ 1 回につき、約 3 秒間ファクス送信が遅延されますので、必要に応じ て [ポーズ]を増やしてください。
	<ul> <li>● 通信モードを [9.6kbps (G3)] にしてください。</li> <li>∠ア[メニューー覧] - 「ファクス設定」 - 「基本設定」 37 ページ</li> </ul>
	<ul> <li>手動送信やオンフックダイヤルなどで送付先のファクス信号を確認してから送信してください。</li> </ul>
	<ul> <li>アドレス帳から送付先を入力しているときは、登録内容を確認してください。</li> <li>間違っているときは修正してください。詳細は以下をご覧ください。</li> <li>∠GF「アドレス帳」24ページ</li> </ul>
	上記の対応をしても改善しないときは、お手元にファクス送信直後のプロトコル ログを印刷してからエプソンのインフォメーションセンターに問い合わせてくだ さい。問い合わせ先は『操作ガイド』(紙マニュアル)または『ユーザーズガイド』 (電子マニュアル)をご覧ください。 レポートの印刷方法は以下をご覧ください。 
特定の送信元からの受信文書が届かない (毎回エラーが表示される)	通信モードを[9.6kbps(G3)]にしてください。 「メニュー一覧」-「ファクス設定」-「基本設定」37 ページ
	上記の対応をしても改善しないときは、お手元にファクス受信直後のプロトコル ログを印刷してからエプソンのインフォメーションセンターに問い合わせてくだ さい。問い合わせ先は『操作ガイド』(紙マニュアル)または『ユーザーズガイド』 (電子マニュアル)をご覧ください。 レポートの印刷方法は以下をご覧ください。 
指定時刻に送信できない	<ul> <li>時刻指定送信は、日付と時刻が設定されていないとできません。プリンターに</li> <li>日付と時刻を設定してください。</li> </ul>
	<ul> <li>プリンターの日時がずれていると、指定した時刻に送信できません。プリンターの日時を確認してください。[セットアップ] - [システム管理設定] - [共通設定] - [日付 / 時刻設定] で、日時確認と変更ができます。</li> </ul>
きれいに送信できない	<ul> <li>原稿台と ADF の汚れを取り除いてください。詳細は『操作ガイド』(紙マニュアル)または『ユーザーズガイド』(電子マニュアル)をご覧ください。</li> <li>「送信設定]の「画質」を調整してください。また、文字と写真が混在した原</li> </ul>
	稿は [フォト] の設定で送信してください。 Δア[ファクス送信の基本操作] - 「プリンターから直接ダイヤルする」 8 ページ
	<ul> <li>● [送信設定]の[濃度]を調整してください。</li> <li>∠☞ [ファクス送信の基本操作] - 「プリンターから直接ダイヤルする」8ページ</li> </ul>
	<ul> <li>受信機の能力がわからないときは、ダイレクト送信するか [精細] で送信してください。[超高精細] や [高精細] でメモリー送信すると低い解像度に変更して送信することがあります。</li> </ul>

現象	対処方法
A3 ファクスを送信できない	• 送信先のファクスが A3 に対応しているか、送信先に確認してください。
	<ul> <li>原稿台からファクスを送信するには原稿サイズの設定が必要です。</li> <li>ロークスズゲーク基本提供し、「プリンク」から実施がくたいます。</li> </ul>
	<ul> <li>         ・通信管理レポートに「縮小」と表示されていたら相手側はA3 機には対応して     </li> </ul>
	いません。
受信できない	<ul> <li>ファクス機能診断をしてください。</li> <li>         「困ったときは」-「ファクス機能診断結果一覧」26ページ      </li> </ul>
	<ul> <li>ファクスの受信ができなかったジョブのエラーコードを確認してください。エラーコード一覧から対処方法をお試しください。</li> </ul>
	∠37 困ったときは」-  エフーコード一覧」26ページ ・通信モードを「9.6kbns(G3)] にしてください
	<ul> <li>● 通信 ビードを [3.0kbps (03)] にじてくたとい。</li> <li>▲ 金「メニューー覧」-「ファクス設定」-「基本設定」37ページ</li> </ul>
	• 接続回線の設定を確認してください。[構内交換機(PBX)] に設定すると通信 できることがあります。ご利用の回線が内線呼び出し(SIR)になっている場 合は、外線呼び出し(IR)に設定すると解決することがあります。回線業者様 に確認してください。
	• プリンターの電源と電話回線の接続を確認してください。
	<ul> <li>外付け電話機を使用するときは。[ファクス / 電話自動切替] に設定してください。</li> </ul>
	• ボイスワープなどの電話転送サービスを利用しているときは受信できないこと があります。サービスを提供している電話会社様にお問い合わせください。
	• 呼び出し回数が多く設定されていると、送信側の設定によっては受信できない ことがあります。
	∠☞「メニュー一覧」-「ファクス設定」-「受信設定」35ページ
	<ul> <li>ダイヤルインやモデムダイヤルイン機能は対応していません。該当する場合は、</li> <li>回線業者様に確認してください。</li> </ul>
	• Fネット(1300Hz 呼び出し)は対応しておりません。該当する場合は、回線業者様に確認してください。
	• 接続されている電話回線が不安定な場合、ファクス送信されていないのに着信 中表示が続くことがあります。ご契約の回線業者様に確認してください。
	上記の対応をしても改善しないときは、お手元に通信管理レポートを印刷してか らエプソンのインフォメーションセンターに問い合わせてください。問い合わせ 先は『操作ガイド』(紙マニュアル)または『ユーザーズガイド』(電子マニュアル) をご覧ください。 レポートの印刷方法は以下をご覧ください。
きれいに受信できない	<ul> <li>ファクス回線設定の [エラー訂正 (ECM)] を [オン] にしてください。</li> <li>∠☞「メニュー一覧」-「ファクス設定」-「基本設定」37 ページ</li> </ul>
	● 送信元に  原稿に汚れがないか」  画質の高いモードで送信できないか」 確認   してください。
	<ul> <li>受信文書を印刷し直してください。[ジョブ確認メニュー]の[ジョブ履歴] から印刷できます。</li> <li></li></ul>
 A3 ファクスを受信できない	↓ ● 送信元のファクスが A3 に対応しているか、送信元に確認してください。
	<ul> <li>給紙装置設定で用紙カセットにA3が設定されているか、またA3用紙の入っている給紙装置をファクスで使う設定になっているか確認してください。</li> <li>プ「プリンターの設定」-「給紙装置を設定する(対応機種のみ)」7ページ</li> </ul>

現象	対処方法
受信ファクスを印刷しない	<ul> <li>紙詰まりやインクカートリッジの交換が必要なときなどプリンターのエラーが 発生していると印刷できません。プリンターの状態を確認してください。対処 方法は『操作ガイド』(紙マニュアル)または『ユーザーズガイド』(電子マニュ アル)をご覧ください。</li> </ul>
	<ul> <li>受信ボックスに保存する設定になっている、または転送や外部メモリーに保存だけする設定にすると印刷はしません。設定を確認してください。</li> <li>プ「受信文書の処理方法」18ページ</li> </ul>
通信結果レポートが印刷された	<ul> <li>再送信してください。送信失敗文書を保存する設定にしていると[ジョブ確認 メニュー]から送信できます。</li> <li></li></ul>
外付け電話機が使えない	<ul> <li>ファクス機能診断をしてください。</li> <li>ピア「困ったときは」-「ファクス機能診断結果一覧」26ページ</li> <li>本製品のEXT.ポートに外付け電話機を接続し、受話器を上げて「ツー音」が 聞こえるかを確認してください。「ツー音」が聞こえれば電話機に問題はあり ません。「ツー音」が聞こえないときは、モジュラーケーブルの接続(接続ポー トの向き)が正しいか確認してください。</li> <li>ピア「電話回線を接続」-「電話回線とプリンターの接続方法」4ページ</li> <li>留守番機能付き電話機を外付け電話機に使用しているときは、自動受信するま での呼び出し回数は留守番電話の呼び出し回数より多く設定してください。</li> <li>ピア「ファクス受信の方法」-「使い方から受信方法を選択する」15ページ</li> </ul>
ナンバーディスプレイが表示されない	<ul> <li>電話番号を表示するには、ナンバーディスプレイ契約した回線が必要です。ご 契約の回線業者様に確認してください。</li> <li>ナンバーディスプレイ設定を確認します。[オン]または[外付け電話機優先] に設定してください。</li> <li>ピア「メニュー一覧」-「ファクス設定」-「基本設定」37ページ</li> <li>接続を確認してください。ブランチ接続していると使用できません。</li> </ul>
外部メモリーに受信データを転送でき ない	<ul> <li>外部メモリーをファクスで使用できるよう設定してください。 ∠☞「受信文書の処理方法」-「保存する」18ページ</li> <li>外部メモリーが書き込み禁止の場合は解除してください。</li> <li>外部メモリーの残量を確認してください。残量が少ないと保存できません。</li> <li>外部メモリーが無効の設定になっている場合は、外部メモリーをセットしても 認識されません。有効にするには[セットアップ]-[システム管理設定]-[プ リンター設定]-[外部メモリー設定]で[有効]に設定してください。プリンター に管理者設定しているときは、管理者にお問い合わせください。</li> </ul>
パスワードを忘れた	受信ボックス、管理者のパスワードを忘れたときは、エプソンのインフォメーショ ンセンターに問い合わせてください。問い合わせ先は『操作ガイド』(紙マニュ アル)または『ユーザーズガイド』(電子マニュアル)をご覧ください。
原稿サイズが正しく送られていない	A3 対応機は光源の近くや直射日光の当たる場所に設置すると、原稿台に光が当たり、意図した範囲で原稿が読み取れないことがあります。原稿サイズを設定してから再度実行してください。
受信文書に相手先の電話番号が表示さ れない、または電話番号が間違って表 示される	送信元のファクス機に発信元番号が設定されていないか、登録が間違っている可 能性があります。送信元に確認してください。
受信文書をメールアドレスに転送でき ない	<ul> <li>メールアドレスを正しく入力してください。</li> <li>              アドレス帳」24ページ         </li> <li>メールサーバーの設定をしないと、メールの送信や転送はできません。メール サーバーの設定をしてください。         </li> <li>             ア「メールサーバーの設定」38ページ         </li> </ul>

します。



# ファクスモード

ホーム画面からファクスモードを選択し、[メニュー]を押して項目にタッチして設定します。



項目名		説明							
送信設定	ファクス送信するとき	こ設定します。							
	画質	文書と写真が混在した原稿では[写真]をお勧めします。原稿の内容や画質によって         送信時間は異なります。         普通       速度優先         精細       ・         高精細       画質優先         写真							
	濃度	ー(マイナス)で薄く、+(プラス)で濃くなります。 [自動]にすると原稿に合わせて濃度を設定します。							
	原稿サイズ(原稿台)	原稿台にセットした原稿のサイズと方向を選択します。							
	ADF 自動両面	モノクロ両面原稿を ADF にセットして、両面で送るときに設定します。							
	ダイレクト送信	ファクス原稿を読み込みながら、宛先に送信します。 プ「いろいろな送信方法」-「大量ページのモノクロ原稿を送信する(ダイレクト送信)」 13ページ							
	優先送信	操作中のファクスを予約されたファクスより優先して送信したいときに選択します。 初期値は [オフ] です。 ☞「いろいろな送信方法」-「優先してファクスを送信する(優先送信)」13ページ							
	ADF 原稿追加	用紙サイズの違う原稿や大量ファクスで原稿を追加するときに設定します。 ∠☞「いろいろな送信方法」-「異なるサイズの原稿を ADF から送信する」13 ページ							
	通信結果レポート	通信結果レポートの印刷設定をします。 ∠☞「その他のファクス機能」-「各種レポート、リスト印刷」22ページ							
時刻指定送信	時刻を指定して送信しま 」で「いろいろな送信方法	ます(モノクロのみ)。 法」-「指定した時刻に送信する」11 ページ							
ポーリング受信	相手先に蓄積されたファ 」 かつで、 のので、 のののので、 ののののので、 ののののので、 のののののので、 ののののののので、 ののののののので、 のののののののの								
ポーリング送信	相手からのポーリング プ「いろいろな送信方								
待機文書蓄積	原稿を読み取って蓄積し ふ「いろいろな送信方	しておき、後から宛先を入力して送信できます(モノクロのみ)。 法」-「宛先を指定しないで送信文書を蓄積する」11 ページ							

項目名		説明
レポート印刷	ファクス機能設定 リスト	ファクス設定の設定値を印刷します。
	通信管理レポート	送受信結果の一覧を印刷または表示します。
	通信結果レポート	最後に実行したファクス送信またはポーリング受信の通信結果を印刷します。
	蓄積文書リスト	未完了ジョブ(送受信)などメモリーに蓄積されている文書のリストを印刷します。
	プロトコルログ	最後に送受信したファクスの詳細な通信レポートを印刷します。

# ファクス設定

ホーム画面からセットアップモードを選択し、[システム管理設定] - [ファクス設定] から項目を選択します。ファクス全般の設定ができます。

プリンターに管理者の設定をしているときは、管理者のみ設定ができます(対応機種のみ)。



項目名		説明					
ユーザーデフォルト	ファクス送信時に設定す	するファクスメニュー項目のユーザーデフォルト値を設定します。					
	□ 日頃日の武明は以下をこ見へたこしい。 ♪「メニューー覧」-「ファクスモード」33ページ						
		初期値は〔精細〕です。					
	濃度	初期値は[自動]です。					
	原稿サイズ(原稿台)	初期値は [A4 (横)] です。					
	ADF 自動両面	初期値は [オフ] です。					
	ダイレクト送信	初期値は [オフ] です。					
	ADF 追加原稿	初期値は[オフ]です。					
	通信結果レポート	初期値は [エラー時のみ] です。					
送信設定	ファクス送信するときの	カファクスの動作を設定します。					
	回転送信(A3 対応 機のみ)	A4 縦置き原稿を A4 原稿として送信します。初期値は [オン] です。 ♪「いろいろな送信方法」-「A4 縦置き原稿を回転送信する(回転送信)(A3 サイ ズ対応機種のみ)」12 ページ					
	バッチ送信	同じ宛先のファクスをまとめて送信するかどうか設定します。初期値は [オフ] です。 Δア「いろいろな送信方法」-「同じ宛先の送信文書をまとめて送信する(バッチ送信)」 12ページ					
	送信失敗文書保存	送信失敗した文書をメモリーに保存します。[ジョブ確認メニュー]から再送信する ことができます。初期値は [オフ] です。					
	自動リダイヤル回数	相手先にファクスが送れないときのリダイヤル回数とリダイヤルする間隔を選択しま					
	自動リダイヤル間隔	す。初期値はリダイヤル回数[3]、リダイヤル間隔(分)[5]です。					
受信設定	ファクスを受信するとき	きのファクスの動作を設定します。					
	受信モード	受信モードを設定します。 <i>C</i> テ「ファクス受信の方法」 14 ページ					
	呼び出し回数	着信してからファクスを受信するまでの呼び出し回数を選択します。初期値は [5] です。 ☞「ファクス受信の方法」14 ページ					
	電話呼び出し回数	[ファクス / 電話自動切替]設定時に、外付け電話機の着信時の呼び出し回数を選択 します。初期値は[8]です。 金「ファクス受信の方法」-「使い方から受信方法を選択する」15ページ					
	リモート受信	外付け電話機の操作だけで、ファクス受信できるように設定します。初期値は [オフ] です。 ☞「いろいろな受信方法」-「外付け電話機だけで受信する(リモート受信)」17ページ					

項目名	説明							
出力設定	受信ファクスの出力設定	Eをします。						
	受信ファクスの処理	受信したファクスの処理方法を確認します。印刷しないで受信ボックスや外部メモリー などに保存するときや転送するときに設定を変更します。初期は印刷する設定です。 <i>L</i> 3F「受信文書の処理方法」18 ページ						
	自動縮小印刷	受信文書のサイズが用紙サイズより大きいときに、縮小印刷するかどうか設定します。 データによっては縮小できないことがあります。[オフ]にすると次ページに印刷し たり 2 枚目が白紙になるときがあります。初期値は[オン]です。						
	自動回転印刷	給紙装置設定が [A3] と [A4]、[B4] と [B5]、[A4] と [A5] に設定されてい るときに、A5 または B5/A4(対応機種のみ)の文書を受信すると、自動で回転さ せて最適なサイズの用紙に印刷します。初期値は [オン] です。						
		例) A5 横長で受信						
		[オフ]: A4 に印刷 [オン]: A5 に印刷						
	正順出力	複数ページの受信文書を正順で出力するように設定します。メモリーの空き容量が少 ないときは正順出力されないことがあります。初期値は[オン]です。						
		$\leq \leq $						
	印刷停止時間の設定	夜間などの不在時に機密文書を印刷したくない場合にご利用ください。ファクス受信 文書の印刷を一時的に停止します。プリンターのデータランプが点灯していたら[ジョ ブ確認メニュー]を確認してください。[オン]を設定したときは[再開する時刻]と[停 止する時刻]を入力してください。受信文書がメモリーに蓄積されるため、メモリー の空き容量にご注意ください。初期値は[オフ]です。						
	転送結果レポート	転送結果レポートを出すか出さないか設定します。[エラー時のみ]を選択すると、 受信文書を転送するときにエラーになったときに印刷します。初期値は[エラー時の み]です。						
	結果レポート内画像 添付	通信結果レポートに、送信文書の画像を添付するかどうか設定します。[添付する(画像大)]は1ページ目の先頭部分を、大きな画像で添付します。[添付する(画像小)]は1ページ目全体を縮小して添付します。初期値は[添付しない]です。						
	通信管理レポート自 動印刷	通信管理レポートの印刷を指定します。[オン(30 件毎)]はレポートが 30 件たま ると印刷します。[オン(指定時刻)]は指定した時刻に印刷しますが、履歴が 30 件 を超えると指定時刻前に印刷します。初期値は[オフ]です。						
	レポート形式	通信管理レポート、通信結果レポートの表示形式の設定をします。[詳細情報] にす るとエラーコードが表示されます。[簡易情報] では「通信エラー」とだけ表示され ます。初期値は [簡易情報] です。						

項目名	説明						
基本設定	ファクスの送受信に必要	要な設定です。					
	通信モード	通信開始速度を設定します。初期値は [14.4kbps(G3)] です。 通信エラーが頻繁に起きるときや、海外または IP 電話環境で通信するときは [9.6kbps (G3)] に設定することをお勧めします。					
	エラー訂正(ECM)	回線トラブルによりデータ抜けなどが発生したときに自動で回復する機能(ECM) を有効にします。初期値は [オン] です。ECM 機能のあるファクス間の通信のみ有 効です。[オフ] に設定したときはカラーファクスの送受信ができません。					
	ダイヤルトーン検出	ダイヤルトーンを検出してからダイヤルを開始するかどうか設定します。初期値は[オ ン]です。構内交換機(PBX)やIP電話などの環境ではダイヤルできないことがあり ます。接続回線を[構内交換機(PBX)]にしても接続できないときは[オフ]を試 してください。ただし、[オフ]にすると電話番号の先頭番号が抜けて誤った番号に ダイヤルされる可能性があります。					
	ダイヤル種別	<ul> <li>電話回線のダイヤル種別を設定します。初期値は [プッシュ] です。</li> <li>ご使用の回線種別の確認方法</li> <li>ダイヤル時に受話器から聞こえる音 (「ピッポッパ」はプッシュ回線、「カタカタカタ」はダイヤル回線)。</li> <li>わからないときは [プッシュ] → [ダイヤル (20pps)] → [ダイヤル (10pps)]</li> </ul>					
	ナンバーディスプレ イ対応	の順に設定を変えて確認。 ご使用の回線がナンバーディスプレイサービスに契約していて、プリンターや外付け 電話機に相手の電話番号を表示したいときに設定します。初期値は [オフ] です。 ナンバーディスプレイの設定は以下をご覧ください。 <i>C</i> の「ファクス受信の方法」-「使い方から受信方法を選択する」15ページ					
	接続回線	ご使用の回線を選択します。初期値は [一般回線 (PSTN)] です。 内線電話や ADSL モデム、ターミナルアダプターなどをご使用の環境では [構内交 換機 (PBX)] に設定します。 また外線への発信時に「0 ポーズ」などを入れてダイヤルしているときは [外線発信 番号] に登録することもできます。 例) 登録:外線発信番号「01」を登録 ダイヤル: # 026352XXXX ダイヤル処理: #を 01 に自動で置き換えて 01026352XXXX にダイヤル					
	発信元設定	発信元名(会社名または自分の名前など)と発信元番号(接続した回線の電話番号) を登録します。文字の入力方法は、以下をご覧ください。 プ「文字の入力」39ページ					
セキュリティー設定	ファクスの誤送信や受付	- 言ファクスの紛失や漏えいを防ぐ設定をします。					
	直接ダイヤル制限	直接ダイヤルの入力を制限します。[オン] に設定すると [アドレス帳] かワンタッ チダイヤル (対応機種のみ)、または [履歴] からしか入力できません。[2回入力 は確認のため直接ダイヤルの再入力が必要となります。初期値は [オフ] です。					
	宛先一覧確認	送信前に宛先を確認するかどうかを設定します。[オン]に設定すると送信前に宛先 確認の画面が表示されます。初期値は [オフ] です。					
	受信ボックスパス ワード設定	受信ボックスにパスワードを設定します。 [変更] でパスワードを設定します。[初期化] で設定したパスワードを削除できます。 ただし、初期化するときもパスワードの入力が必要です。					
	バックアップデータ 自動消去	メモリーに蓄積された送受信文書は不要になった時点(送信や印刷、保存など)で自 動削除されますが、実際にはすぐには消されずにメモリー内に残ります。この設定を すると削除と同時にメモリーから完全に消去します。 「バックアップデータ自動消去」は自動でメモリーから完全消去します。初期値は「オ					
	バックアッフデータ を消去	フ] です。 [バックアップデータを消去] は手動でメモリーから完全に消去します。プリンター を譲渡したり廃棄するときにご使用ください。					
ファクス機能診断	電話回線との接続状態が ∠☞「困ったときは」- 「	などを A4 サイズの普通紙に印刷します。詳細は以下をご覧ください。 「ファクス機能診断結果一覧」 26 ページ					
ファクス設定 ウィザード	ファクスの送受信に必要 「プリンターの設定	要な設定を画面に従って設定します。詳細は以下をご覧ください。 」-「[ファクス設定ウィザード]で設定する」6 ページ					

# メールサーバーの設定

利用者がメール送受信に使用しているメールサーバーの情報をプリンターに設定します。コンピューターのメール設定時に使ったサーバー情報(プロバイダーからの情報文書など)をご用意ください。また、インターネットメール(フリーメール)をご利用の場合は、メールサーバー情報を検索するなど、情報を事前に入手してください。

#### !重要

ご利用のメールサーバーが採用している認証方法はプ ロバイダーなどの情報提供先に確認してください。プ リンターから接続が可能なメールサーバーの認証方法 は以下の通りです。

認証方法\* NONE (なし)、SMTP (SMTPAuth)、 POP Before SMTP

\*: SSL/STARTTLS には対応していません。

また、上記の方法であってもセキュリティーが強化さ れているメールサーバー(SSL 通信が必須など)で は通信ができない場合があります。最新情報はエプソ ンのホームページ「よくある質問(FAQ)」をご覧く ださい。

∠¬http://www.epson.jp/faq/

## 参考

1

プリンターに管理者設定をしているときは、管理者(権限を持つ方)が設定してください(対象機種のみ)。

#### 

点灯していない場合は、プリンターのネットワーク 設定をしてください。詳しくは『ネットワークガイ ド』(電子マニュアル)をご覧ください。



8 [システム管理設定] - [ネットワーク設定] - [ネットワーク設定] - [ネットワーク詳細設定] を選択します。

4 [ネットワーク詳細設定] 画面で [メールサー バー] - [サーバー設定] を選択します。

#### 認証方法を選択します。

ご利用のメールサーバーの認証方法に合わせて選択してください。

## メールサーバーの設定をします。

認証方法によって設定する項目は変わります。ご利 用のメールサーバーの情報を入力してください。

項目名	説明
認証方法	選択した認証方法が表示されます。
認証アカウント	メールサーバーに登録されている ユーザー名(メールアドレス)を 30 文字以内で入力します。
認証パスワード	認証アカウントのパスワードを 20 文字以内で入力します。
送信元アドレス	プリンターから送信されるメール アドレスです。既存のメールアド レスでも可能ですが、プリンター からのメール受信と分かるように したい場合は、プリンター用の メールアドレスを取得して指定し てください。
SMTP サーバー アドレス *	ご利用のメール送信(SMTP) サーバーの情報を入力します。
SMTP サーバー ポート番号 *	メール送信(SMTP)サーバーの ポート番号を入力します。
POPЗ サーバー アドレス	POP Before SMTP 認証を選択 したときに設定します。メール受 信(POP3)サーバーの情報を入 力します。
POP3 サーバー ポート番号	メール受信(POP3)サーバーの ポート番号を入力します。

\*:必ず入力してください。

- [設定開始] を押します。
- 8 確認メッセージが表示されたら [終了] を押 します。
- 9 [メールサーバー] 画面で [コネクションテス ト] を選択します。



7

| 接続されているメッセージが表示されたら [確 | 認] を押します。

#### 参考

- コネクションテストでエラーが表示される場合は、 メールサーバー設定が正しいか確認してください。
- コネクションテストは成功するがメール送信ができない場合、ご利用のメールサーバーの認証方法を再度確認してください。

以上で終了です。

5

6

# 文字の入力

アドレス帳などでの文字や記号の入力は、入力専用 画面で行います。

設定する項目によって表示される画面は異なります。

数字·記号入力(数字のみ表示もあります)



アルファベット(アルファベットテンキー表示もあります)

q	W	1	6	Ż		r	1	t	3	,	ι	ı	1	i		)	р
а	s		(	1	1	F	Ģ	3	ł	n		i	k			1	-
٠		Z		>	(	(	0	,	,	I	D	I	า	ſ	n		×
12	3#									(	D)		+	_			

#### ひらがな・カタカナ・漢字

入力例) え→ [あ] を4回押す

っ→ [た] を3回押してから [ \*\*\* ] を押す

<ul> <li>Iブソメ</li> </ul>								
	あ	か	さ	×				
	た	な	は	-				
123#	ま	や	5	変換				
ABC	<sup>、°</sup> 小	わ	、 <u>.</u> ?!	Ļ				

	スペースを入力
<b>€X</b>	左側に 1 文字ずつ削除
ABC 123# ひ あい	文字種を切替
	文字の確定、入力画面の確定
変換	漢字、力ナ変換
`°л Aa	確定前文字の大文字 / 小文字切替 ひらがなの濁点
2	ポーズを入力します。

漢字、カタカナ変換方法 入力例) 山田 はな→山田 花に変換

「はな」とフ	しカして	[変換]	を押し	ます。
	山田は嬴			
	あ	か	さ	×
	た	な	は	-
123#	ま	や	5	変換
ABC	<sup>°°</sup> //	ゎ	?!	

2

1

変換リストから [花] を選択します。

[▲] [▼] または画面を指で上下にフリックすると 画面が移動します。変換したい文字が出ないときは [中止] してから単語にして変換をしてください。

<ul> <li>山田 はな</li> </ul>	
	中止
花	
¥	_

#### 変更されました。

▲山田花				
	あ	か	さ	×
	た	な	は	1
123#	ま	や	5	変換
ABC	°°小	わ	<u></u> ?!	L)

以上で終了です。

# こんなことができます

## 受信したファクスを転送する

受信したファクスをメールに添付して転送したり、ネットワークサーバーの共有フォルダーや他のファクス機、指定した コンピューターに転送できます。

転送は印刷と組み合わせたり、「メールとフォルダー」などの組み合わせもできます。



#### 受信したファクスを画面で確認する

受信したファクスを画面で確認してから印刷できます。 印刷したいファクスのみ印刷するため、印刷用紙やインクの使用量を削減できます。





©2014 Seiko Epson Corporation. All rights reserved. 2014年12月発行 Printed in XXXXXX